

アブラハムの物 (1/7) : 概

TOP20

明:
アブラハムの人物 介、そしてユダヤ教、キリスト教、イスラ ムにおける彼の高い地位について。

目:[事イスラ ムの信条](#) [言者の物](#)

より: IslamReligion.com

E09 Jan 2012

集日 30 Jul 2023



クルア ンにおいて最も注 を向けられている 言者の一人が、 言者アブラハムです。クルア ンでは、神に する彼の るぎない信仰心が描写されています。彼はまず偶像崇 をしていた彼の民を拒み、その には神による数々の に打ち ってきました。

アブラハムはイスラ ムにおいて、人々に唯一神の崇 を いた、 かつ 格な一神教徒として なされています。この信仰によって彼は多大なる困 に直面し、家族や同 の人々との を ち、 々な土地への移住を余 なくされたのです。彼こそは、 々な を通して神の戒律を守り いた人物でした。

ノアのように、彼以前の 言者たちも同じ信仰へと呼びかけていました。それにも わら ず、アブラハムの信仰心の さゆえに、クルア ンは唯一なる真の宗教を「アブラハムの

道」と表しています。彼による神への不断の服により、神は彼に「　を受けたしもべ」を意味する「ハリル」という特な称号を授けました。それは彼以外の言者には与えられなかったものです。アブラハムの卓逸性により、神は彼の子からイシュマエル、イサク、ヤコブ（イスラエル）、そしてモゼといった言者を**び**ました。

アブラハムのこうした高い地位は、ユダヤ教、キリスト教、そしてイスラームにおいて共有されています。ユダヤ教は、彼が戒律のすべてをそれらが示される前に守りぬいたこと、そして唯一なる真の神の存在を最初にしたことから、彼をの化となしています。神は的な示を彼から始したため、彼は民たちの父、言者の父ともなされています。彼はキリスト教においても、すべての信仰者たちの父（ロマ人の手 4: 11）となされ、彼の神にする信と犠は、世の人たちにとっての模とされています（ヘブル 11）。

アブラハムがこのような重要性を与えられていることから、彼の人生と、神が彼に与えたものの意味を学ぶは十分あるはず**す**。

クルアーンとハディースはアブラハムの人生のを述べるのではなく、注目にする一定の事のみを提供しています。クルアーンやバイブルに登る他の人物同、クルアーンとハディースは去の宗教によるった考えを解明するため、彼らの人生の面をけると同に、特されるべき信念やモラルを含む逸をえるのです。

彼の名前

クルアーンにおいて、彼は「アブラハム」と同じ源から来る「イブラヒム」または「イブラハム」という名が与えられています。彼はバイブルにおいては、まずアブラムと呼ばれていましたが、神が彼の名をアブラハムにえたとされています。クルアーンはこの件にして肯定も否定もせず沈しています。近代のユダヤキリスト教学者たちは彼の改名のとそれぞれの名の意味にして疑を呈し、「言び」であると切りてています。古代アッシリア研究者たちはヘブライの文字「ハ」は、ある方言では母音なしでされ、アブラハムとアブラムのいはなる方言であるとしていま**す**

。同のことが、同じ意味を持つ二つの名前であるサライとサラにしても言えるので**す**。

彼の故

アブラハムは、イエスよりも推定2166年早く、在のバグダドから南におよそ300キロ離れたメソポタミア³の都市ウル⁴に生したとされています。

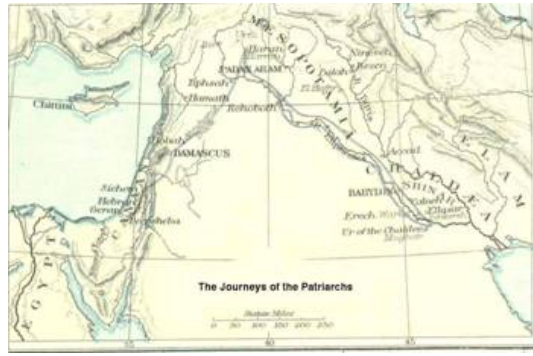
。バイブルでは、彼の父は偶像崇拝者であり、その名を「アザル」「テラ」または「テラフ」とされ、ノアの男セムの子でした。一部の学者によれば、彼がアザルと呼ばれたのは、彼が献身していた偶像の名から来るのではないかと推されています。

。彼は元前三世にアラビア半島からメソポタミアに移住したセム族の子であるアッカド人であったとされています。

どうやらアブラハムが人々と立する前の幼少代、アザルは彼の族数人と共にハッランに移住したようですが、ユダヤキリスト教の承

では、にアブラハムが故郷で拒められただとしています。バイブルでは、アブラハムの兄弟の一人ハランが「彼の故郷の地（世 11: 28）」であるウルで死んだとされますが、彼はアブラハムよりも年長の兄弟ナホルがハランの娘を妻として娶った（世 11: 29）とされます。またバイブルではアブラハムによるハッランへの移住についても言及されてはいませんが、移住の第一の戒律は、既に居住していたかの如く、ハッランからの移住でした（世 12: 1 5）。第一の戒律がウルからカナンへの移住であったとなすなら、地理的に不合理であるばかりでなく、アブラハムが家族と共にハッランに住み、父をそこに残してそのカナンに移すということは意味がないように思えます（地参照）。

クルアーンではアブラハムの移住について言及されていませんが、アブラハムが彼の父、そして部族との絆を（彼らの不信仰から）断したについては言及しています。その当に彼がウルにいたのであれば、不信仰に陥ったあと部族の人々とアブラハムを拷問し、その彼とハッランに行くことは合理性に欠けます。彼らが移住の断をしたことについては、考古学的な観点からも、ウルがアブラハムの生前に勃崩をしたため、境的な困窮から移住を余なくされたものとなされています。つまり、彼らがハッランを死んだのはウルと同じ宗教を共有していたからであると予言されているので



メソポタミアの宗教

アブラハムの代にさかのぼる考古学的には、メソポタミアの宗教的生活がどのようなものだったかを明らかにしました。当地の住民は、それぞれの影を有する神々の存在を信じていた多神教徒だったのです。アッカド人¹⁰の月の神であるシンには巨大な神殿が捧げられ、そこはウルの中心地となっていました。またハッランでも最高神として月が祀られていました。この神殿は、神にとっての物理的な家であると信じられていました。神殿の最高神は木の偶像であり、そこには最高神に仕えるその他の神々の偶像が祀られていました。



月の神ナンナ（名シン）を祀る、ウルの巨大宗教建造物。2004年撮影。写真提供：Lasse Jensen

神の知

ユダヤキリスト教学者たちは、アブラハムが神を した年 について3、10、または48か 解を にしますが、クルア ンでは彼がいつ最初の 示を受けたかという特定の年 には触れられていません。しかし、クルア ンが彼を「若者」と言及しているように、どうやら彼が若い、父 に唯一神の崇 を呼びかけ、彼の父にはなかった知 を自らが有してい

たと宣言したことから、その噂が人々に まり、人々は彼の 刑を みたのだということ を、クルア ンは述べています (19: 43) 。クルア ンは、彼が 示の下された 言者の一人であることを明 にしています:

“??87?18?19?”

Footnotes:

1

Abraham. The Catholic Encyclopedia, Volume I. Copyright 1907 by Robert Appleton Company. Online Edition Copyright 2003 by K. Knight Nihil Obstat, March 1, 1907. Remy Lafort, S.T.D., Censor. Imprimatur. +John Cardinal Farley, Archbishop of New York. (<http://www.newadvent.org/cathen/01051a.htm>)

2

Sarah. The Catholic Encyclopedia, Volume I. Copyright 1907 by Robert Appleton Company. Online Edition Copyright 2003 by K. Knight Nihil Obstat, March 1, 1907. Remy Lafort, S.T.D., Censor. Imprimatur. +John Cardinal Farley, Archbishop of New York.) (*Abraham*. Charles J. Mendelsohn, Kaufmann Kohler, Richard Gottheil, Crawford Howell Toy. The Jewish Encyclopedia.

3

メソポタミア: チグリス川とユフラテス川の 平野であり、 去のペルシアの一部、 在のイラクにあたります。メソポタミア文明はメソポタミアに生まれた文明を 称する呼び名で、世界最古の文明であると言われています。メソポタミアは、多くの文明によって征服されました。それら 文明の中には、シュメル、バビロニア (バビロン) 、アッシリア、アッ (ムロデ王国の四つの都市の一つ) 、エジプト文明、ヒッタイト、そしてエラム古代王国があります (ウィキペディア) 。

4

ヘブライ人の祖先であるアブラムは、カルデア王国のウルに生まれたとされています。バビロニア南部のユフラテス川西岸は、ではムガイル、またはムガイヤルと呼ばれています (*Easton's 1897 Bible Dictionary*) 。

5

著名なムスリムの 史学者であるイブン アサ キルは、この 解の信 性を承 しており、彼がバビロン出身であると述べ

。イブン カスィ ル著の「カサス アル=アンビヤ 」参照。

6

Stories of the Prophets, ibn Katheer. Darussalam Publications.

7

バイブルではアブラハムの人生についての 述が非常に少ないため、彼について信じられていることはタルム ドや律法によるその他の著 といった、ユダヤ キリスト教のいくつかの言い えに基づいたものです。ユダヤ キリスト教のバイブルにおける多くの 述は と なされており、それらは の手段のないものです。~~参照~~ *Abraham*. The Catholic Encyclopedia, Volume I. Copyright 1907 by Robert Appleton Company. Online Edition Copyright 2003 by K. Knight Nihil Obstat March 1, 1907. Remy Lafort, S.T.D., Censor. Imprimatur. +John Cardinal Farley, Archbishop of New York.) (*Abraham*. Charles J. Mendelsohn, Kaufmann Kohler, Richard Gottheil, Crawford Howell Toy. The Jewish Encyclopedia. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=360&letter=A#881>)

8

(<http://www.myfortress.org/archaeology.html>)

9

(<http://www.myfortress.org/archaeology.html>)

1

0

アッカド：メソポタミア（現在のイラク）南部を占めるバビロニアの北半分の地域、またはそこに った最古の帝国（ウィキペディアより引用）。

1

1 Gen R. xxx. *Abraham*. Charles J. Mendelsohn, Kaufmann Kohler, Richard Gottheil, Crawford Howell Toy. The Jewish Encyclopedia. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=360&letter=A#881>).

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/293>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。